



カトリック札幌司教区

札幌カリタス通信

Jan. 2013 No. 14



＝移動カフェの様子＝



＝宮古教会の方たちと＝

東日本大震災発生から、今年の3月で2年

東日本大震災発生から、1月11日で1年10か月が経過しました。しかしながら、被災地の復興はまだまだ時間がかかる状態です。原子力発電所の放射能の問題、個人や事業者の二重債務の問題、行政の対応や法的整備の問題、心的な問題など様々な問題が重なり合っ
て復興計画が進んでいません。被災された方々主体の対策が取られることを切に望みます。また、政権が自民党に代わり、この頃のマスコミによれば政府として原発への対応が変化してきています。原発の廃止を訴えているカトリック教会としては悩ましい状態になりそうです。今、キリスト者として私たちができる最善のことを行っていかなければならないとの思いで一杯です。

札幌カリタスは東日本大震災発生1ヶ月後の4月から、札幌教区サポートセンターを立ち上げ、岩手県宮古市を中心にボランティアを派遣し続けてまいりました。これも、札幌教区の皆様のご協力があった賜物と感謝しております。99匹の羊を置いて1匹の失われた羊を捜しに行くイエスの例えのように、迷える羊がいる限り、被災地の方々が必要とされている限り、今後も全国のキリスト者と協力して、ボランティアの派遣を続けてまいりたいと考えています。

今後とも引き続き、皆様のお祈りとご協力を宜しく申し上げます。

・・・・・・・・ 目 次

報 告	東日本大震災の被災地支援に関する報告	①－②
	札幌カリタス運営委員会報告	③－④
お知らせ	献金者名簿	⑤

東日本大震災の被災地支援の報告

前号では2011年の支援状況を報告いたしました。その後の2012年の支援の様子をご報告いたします。

■宮古ベースにボランティア参加して頂いた人数

2012年12月末現在で、1週間ごとの延べ人数で555名の方々に参加して頂いています。

■宮古ベースの活動報告 <2012年1月～12月の活動抜粋>

主に移動カフェを運営し、仮設住宅の方々のお話を伺ったりのサポートが主流の活動で、分かち合いマーケットの開催や、各ベースの協力イベントにも参加致しました。また、仙台サポートセンターと8ベース(宮古、大槌、釜石、大船渡、米川、石巻、原町、二本松)の代表者が集う全ベース会議も開催され、各ベースの現状報告や今後の対応を検討しています。

- ▶ 1月6日(金)の近内仮設住宅の移動カフェから今年の活動は開始しました。心労やトラウマを語ってくださる方や会社再建の思いを語ってくださる方もいました。土・日のある仮設住宅では、漬物や煮物を持ち寄っての“新年会”が行われました。
- ▶ 集会室の水道凍結で仮設住民からもらい水をした日にNHKの取材があり、住民が冬物衣類を手にする様子が“一番の冷え込み”というニュースの中で全国放映されました。
- ▶ 昨年9月に始まった高浜仮設住宅での絵葉書作り支援(買い取って小教区等で販売)は順調に続いています。
- ▶ 手仕事紹介2つ目の企画は、フィリピンの養護施設イースターヴィレッジ支援の一環としてのアクリルタワシ作りです。出来上がり次第、買い上げる話がまとまりました。今後は「仕事作り」に重点を置く取り組みに力をいれていきたいと思っています。
- ▶ 今年に入ってから仮設住宅の「自治会長の会」発足の動きがあり、若い自治会長O氏が仮設を回り集会を呼びかけているようです。地元の若い方の動きは力強く、ボランティア活動の中で彼らと連帯できるのは有りがたいことです。
- ▶ 専門スタッフによる音楽療法支援、バレンタインチョコ作り、ひな人形作りや手芸が好評でした。特に、毛糸編みは人気で、毛糸が集まっているボランティアグループに橋渡しをして調達して頂きました。
- ▶ 住民や近隣の方が数か月に及ぶ要望活動の結果、1月末からオープンとなった板屋仮設では、被災者ではない近隣住民の方々が積極的に関わり、リードしながら手芸、小物作りをしました。社会福祉協議会とカリタスの訪問に頼らない住民主権の集会が始まってきたのが伺えました。
- ▶ 耳が遠く、呼びかけが分からない方々にドアチャイムの設置も行っています。宮古ベースでは、宮古教会の信者の方と協力しつつ、公的支援が行き届かない方々への支援を行ってきました。
- ▶ 3月、近畿カトリック学校連盟主催による被災地訪問があり、中学生2名・高校生3名・教師3名と活動を共にしました。初めて目にする土台しか残っていない風景や橋が落ちていることに被害を実感した様子でした。最終日には、被災のお話や今後の見通しなどを直接聞き、田老地区の“万里の長城”と言われる防潮堤から被災地を見て、皆で手をつないで祈りをささげました。

- ▶「みやこ若者サポートセンター」の協力を得て「さをり織り」体験会を共催しました。織りあがった布の美しさに満足した様子が見られ楽しんで頂けたようです。仮設の皆さんは「さをり織り」に大変興味を持たれ、札幌から指導者を招いて指導を受けたいとの意向があり実施しました。
- ▶フクロウのストラップ作り、千代紙細工、古新聞のエコバック、カリタスがプレゼントしたミシンを使って、のれんが巾着に変身したりなど、手作業の輪がどんどん広がってきています。
- ▶釜石で開催された4ベース合同炊き出しに参加し、北海道からのジンギスカン約200食は一番早くに完売し1時間ほどで終了してしまいました。
- ▶美容業界からのボランティアも盛んで、カットとネイルアート、アロママッサージ、足裏マッサージなどのサービスが行われとても喜ばれました。
- ▶遠野町出身のシスターは、その飾らぬ語り口とやや積極的な(?)折り紙指導が皆に受け人気者になっていました。
- ▶5月に初めて派遣された千鶏仮設では、支援物資がほとんど届いておらず、早速、タオル掛けや手洗い洗剤その他を購入(千鶏仮設からの買い物は山田町まで狭く急な山道を片道30分)し、網戸を設置するとともに、ミシンとアイロンの提供しました。リクエストを受けて札幌で集めた女性用の靴は、持参したほとんどが引き取られる人気。継続的な支援が必要と思われるので、宮古市社会福祉協議会にも支援活動の継続を申し入れて実施しました。
- ▶各教会のバザー等で、宮古の物産や仮設住宅で作られた作品の販売も行われました。
- ▶夏休み入り、藤女子大や天使大の大学生や札幌光星の高校生のボランティアが参加し喜ばれました。
- ▶8月25日には、大船渡市地の森発見祭に参加して炎天下の中ジンギスカンを提供。
- ▶9月には、昨年と同様に伊藤光湖さんのバイオリン、札幌アンサンブル「奏楽」の復興支援コンサートを援助し、住民の皆さんに喜んで頂きました。
- ▶9月30日に大槌、釜石、大船渡ベースの協力を頂き、第7回分ち合いマーケットを開催。
- ▶盛岡四ツ家教会が定期的にボランティアの派遣を検討。
- ▶11月に札幌で「さをり織り」の展示即売会が行われ、宮古・浄土ヶ浜仮設住宅の皆さんの作品も出品されました。
- ▶冬期になるとボランティアの申し込みが極端に減少します。現地の皆さんの「楽しみにしています」の声を励みに、後方支援のスタッフが手分けしてボランティアが途切れないようにして下さっています。

■2012年11月末現在の支援募金の収支内訳 ・ ・ ・ 皆様のご協力に感謝します ・ ・ ・

◆募金額 = 45,754,787円

◆支出内訳

①ボランティア派遣・活動費 = 8,240,931円

②支援物資購入費 = 9,555,937円 (分かち合いマーケットを7回開催)

③仮設住宅での移動カフェ運営費 = 707,696円 (昨年7月から開催)

④他団体への活動助成 = 3,090,800円 (暖房器具、庇工事材料費、福島の子どもが北海道で夏休み、支援コンサート等を援助)

⑤後方支援事務局経費 = 176,082円 (NewsLetter 6回発行、印刷と送料)

◆収支差額として23,641,164円の現預金がございます。

これから長期的な支援が必要となりますので、有効に活用させていただきます。

札幌カリタス運営委員会の報告

2012年度札幌カリタスは、2011年度と同様に昨年3月11日に発生した東日本大震災の支援を中心に活動してまいります。その中で、北海道内で社会福祉活動を行っている諸団体への資金援助も行いました。2011年度活動報告と2011年度の決算報告、2012年度の活動計画等を報告させていただきます。今後とも皆様の変わらぬご支援・ご協力を宜しく申し上げます。

主の恵みが皆さんの上にありますように

1. 2011年度活動報告

4月11日からの東日本大震災被災地である宮古市へのボランティア先遣隊7名の派遣から始まり、3月末で延べ369名のボランティアを派遣しました。

また、例年通り北海道内で福祉活動を行っている諸団体への援助金交付（後記掲載）を行い、カトリック福祉施設の集い（3施設からの問題提起と分かち合い）を開催し、札幌カリタス通信の発行、札幌カリタスの日の募金を行い皆様から多くのご協力を頂きました。

2. 2011年度一般会計決算報告

2011年4月1日～2012年3月31日（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	差額	科目	予算額	決算額	差額
寄付金収入	2,200,000	1,491,045	708,955	諸団体援助金	1,400,000	1,425,000	△25,000
利息	1,000	1,849	△849	広報費	100,000	93,800	6,200
積立取崩収入	0		0	行事費	160,000	36,080	123,920
				旅費交通費	10,000	0	10,000
				事務経費	70,000	64,105	5,895
				援助積立金繰入	0	1,136	△1,136
				予備費	200,000	0	200,000
計	2,201,000	1,492,894	708,106	計	1,940,000	1,620,121	319,879
前年度繰越金	2,600,000	2,835,944	△235,944	次年度繰越金	2,861,000	2,708,717	152,283
合計	4,801,000	4,328,838	472,162	合計	4,801,000	4,328,838	472,162

3. 2012年度事業計画

5月 2012年度援助金の交付

6月 2012年度第1回運営委員会開催、新運営委員の選任

7月 札幌カリタスの日献金のお願いとポスターを配布

8月 札幌カリタスの日

9月～10月 社会福祉シンポジウム（被災地ベースの様子、報告会）

12月 2013年度援助金申請書の発送、申込受付開始（1日）

1月 札幌カリタス通信14号の発行

2013年度援助金申請の締め切り（31日）

2月 2012年度第2回運営委員会と援助審査会開催

※10月に全国カトリック老人福祉施設札幌大会が開催されるためカトリック福祉施設の集いの開催は行わない方向で検討

※2011年3月11日に東日本大震災が発生し、1か月後の4月11日から、岩手県宮古市をベース（宮古教会）にして、被災地へボランティアと支援物資を送り続け、これからも続けてまいります。

4. 一般会計2012年度予算

2012年4月1日～2013年3月31日（単位：円）

取 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	2012年度予算	2011年度予算	差 額	科 目	2012年度予算	2011年度予算	差 額
寄 付 金 取 入	1,800,000	2,200,000	△400,000	諸 団 体 援 助 金	1,300,000	1,425,000	△125,000
利 息	1,000	1,000	0	広 報 費	100,000	100,000	0
積 立 取 崩 取 入	0	0	0	行 事 費	160,000	160,000	0
				旅 費 交 通 費	10,000	10,000	0
				事 務 経 費	70,000	70,000	0
				積 立 繰 入 支 出	0	0	0
				予 備 費	200,000	200,000	0
計	1,801,000	2,201,000	△400,000	計	1,840,000	1,965,000	△125,000
前 年 度 繰 越 金	2,600,000	2,600,000	0	次 年 度 繰 越 金	2,561,000	2,836,000	△275,000
合 計	4,401,000	4,801,000	△400,000	合 計	4,401,000	4,801,000	△400,000

5. 2012年度援助金交付額

①NPO法人ニムビン	300,000円
②NPO法人札幌マック	150,000円
③NPO法人札幌マック女性作業所	300,000円
④NPO法人寧楽共働学舎	250,000円
⑤虹の会	300,000円
合 計	1,300,000円

2012年度の援助金交付内容

- ①NPO法人ニムビン…通所者への精神面・生活面での自立支援を行っています。
通所者用のトイレの数が少なく通所者に不便をかけていたので、トイレの増設工事に援助しました。
- ②③NPO法人札幌マック…アルコール・薬物依存症者の回復と社会復帰のための自立支援を行っています。男性グループホームの不足している備品の購入費用と、女性施設の緊急時必要な車両の購入費用に援助しました。
- ④NPO法人寧楽共働学舎…心身に様々な障がいや問題を抱える人や、そうした人々と共に生きようとする人たちが自立するための共同生活の場を運営しています。
市街地中心部から遠いところに施設があるため、緊急時のためのAED購入費用に援助しました。
- ⑤虹の会…視覚障がい者への支援活動（典礼関係印刷物や小教区情報の点訳・音訳）を行っています。
点字プリンター購入費の借入金返済費用を援助しました。

6. 新運営委員

顧問 菊地 功 司教 運営委員長 加藤 鐵男 神父 運営委員 Sr.永田 淑子
 本間 清勝 堤 邑江 南 檣子 今野 涉 佐藤 秀雄（事務局）
 ※ 任期は2012年7月1日～2014年6月30日です。宜しくお願いします。

札幌カリタス献金者名簿

(2011年4月1日～2012年3月31日) 敬称略

※ 皆様のご協力に心より感謝申し上げます ※

<教会>

岩見沢、恵庭、江別、大麻、北1条、北11条、北11条マリア会、北26条、北広島、倶知安、小野幌、新田、住ノ江、千歳、月寒、手稲、富岡、花川、円山、山鼻、旭川5条、旭川6条、大町、枝幸、神居、士別、砂川、滝川、名寄、美唄、富良野、稚内、利尻、当別、八雲、湯川、函館地区宣司評合同ミサ、釧路、柏林台、苫小牧、静内、登別、東室蘭、室蘭、北見地区カトリック大会、北見

<修道会、在俗会>

マリアの宣教者フランシスコ修道会札幌修道院、マリアの宣教者フランシスコ修道会北広島修道院、ベネディクト女子修道院、十勝カルメル会、伊達カルメル会、トラピスト修道院、トラピスチヌ修道院、聖心会、殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会旭川修道院、殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会函館修道院、ヴィアンネ会本部、聖マリア在俗会

<団体、個人、外>

旭ヶ岡の家聖堂、ニムビン、谷口房子

■ 札幌カリタスへの献金 振込口座 ■

郵便振替口座番号 02740-8-35329

口座名 札幌カリタス

※ 被災地への支援募金の場合は、通信欄に「東日本大震災支援募金」と明記して下さい。

■ 編集後記 ■

皆様のご支援・ご協力により、東日本大震災被災地の支援活動などを、微力ではありますが有意義に行うことができました。心より感謝申し上げます。長期にわたる宮古市でのボランティア活動に宮古市社会福祉協議会から感謝状を頂きました。ここにご報告申し上げます。これは教区の皆様のご支援に対して頂いたものと考えております。札幌カリタスはキリスト教的考えにたち、これからも、被災地の方々が必要としている限り、引き続き被災地や福祉諸団体の活動を支援していきたいと考えています。しかしながら、活動内容に不十分な点がありましたことも事実であり、この場をお借りしお詫び申し上げます。今後は札幌カリタス事務局の体制を考え直すなどして、再構築を行わなければならない時期に来ているのかもしれないかもしれません。試行錯誤が続く日々ですが、どうか皆様のお祈りを宜しくお願い致します。

宗教法人 カトリック札幌司教区

札幌カリタス

〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館

Tel 011-241-2785 Fax 011-221-3668

E-mail: officecsd@csd.or.jp <http://www.csd.or.jp/charitas/>